

**地域おこし協力隊
ビジネスサポート事業報告書**

令和5年3月

総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課

ビジネスサポート事業の概要

地域おこし協力隊ビジネスサポート事業の内容

【プログラムの概要】

- 地域の課題解決や地域活性化に向けて、地方自治体の支援のもとで起業やビジネスに取り組む地域おこし協力隊員又は隊員OB・OG（以下、「隊員」という）の取組のうち、特に他の隊員や自治体にも参考となり得る取組を選定。
- 各分野の専門家有識者によるアドバイスをうける（期間中3回程度、オンラインと現地訪問を併用）。
- 取組成果は、事業実施報告会（全国の隊員にYouTubeLiveで限定配信）ビジネス概要及び当期間中の取組内容等を情報発信。

【アドバイスをを行った有識者】



飯盛義徳：慶應義塾大学SFC研究所
所長／総合政策学部教授



伊藤淳司：NPO法人ETIC.
ローカルイノベーション事業部事業部長



金森剛：相模女子大学専門職大学院
社会起業研究科研究科長・教授



川住昌光：一般社団法人移住・交流
推進機構 理事



野田万起子 HumanDelight株式会社
代表取締役社長



矢島里佳：株式会社和える
代表取締役

【令和4年度採択団体】

秋田県
能代市

4地域の観光資源、運送、宿泊を活用し、組み合わせた旅行商品を企画、販売。

新潟県
上越市

少子高齢化が深刻な地域で子育て支援や地域の活性化に寄与する拠点をつくり、子どもの居場所を創出。

岡山県
新庄村

宿場町に位置する空き家を活用したゲストハウスの開業等を通じた、地域の交流人口や関係人口の創出等を図る。

岡山県
西粟倉村

低空飛行ドローンを活用した材木の体積の算定ビジネス。ソフト活用や専門的知識を有するスタッフによる解析実施。

熊本県
御所浦地域

地域内の空き家に対する総合的な取り組みを通じて、地域の空き家の利活用および地域活性化の起爆剤とする。

地域おこし協力隊ビジネスサポート事業の内容



【アドバイスの流れ】

【第1回】

- 事前審査会や、隊員のニーズを踏まえて、専門家を派遣。有識者との対話を通じて、取り組むべき課題を整理。
- 事業期間中の隊員の取組内容を決定。(隊員に第2回までの「宿題」が出される)

【第2回】

- 取組内容の検討状況に基づき、有識者から更なるアドバイス、隊員との対話の継続。
- 必要に応じて、より専門的ノウハウを有する専門家の派遣

【第3回】

- これまでの内容を踏まえたアドバイスの総括
- 今後優先して向き合うべき課題や、磨くべきスキル、大切にすべきマインド等、中長期的な展望も踏まえた助言



【事業のポイント】

ポイント1: 対話型のアドバイス ☀️

- 専門家とじっくり対話しながら、自身で気づいていなかった課題や、今後取り組むべきことが明らかにすることができる。

3

ポイント2: 専門家等とのネットワーク構築 ☀️

- 隊員の取組内容に沿った分野の専門家とのネットワークを構築することができる。
- 隊員のニーズを踏まえ、他地域の専門家や実践者等とつながる機会を得られる。

ポイント3: 隊員の次に踏み出すきっかけづくり ☀️

- 起業に精通した専門家によって、取組を後押しするアドバイスを得ることができる。
- 次回までの「宿題」も出されるため、隊員が次に踏み出すきっかけとなる。

ビジネスサポート事業を通じたアドバイスとブラッシュアップの例

■ パーパス・バリュー・ビジョンの検討・可視化

- 様々な事業に取り組む中で、何を目的にして、どのような将来像を据え、地域に対してどのような価値を提供するのかといった点が不明確になりがち。
- 隊員としてのミッションに奔走するうちに、つい自身が本当に取り組みたかったことが「なおざり」になってしまう。
- 事業のパーパス・ビジョン・バリューを熟考し、自分の言葉で語る時間を持ったほうが良い。



■ ビジネスプランや事業計画の作成

- 隊員の「思い」を現実のものとするためには、ビジネスプランや事業計画に落とし込んでいくことが欠かせない。
- 「自身の生活が成り立つかどうか」といった視点は、事業を継続する上で必要不可欠。
- 事業部門別に損益計算書を作成することで、売上見込や経費を精査する。キャッシュフロー計算書を作成することで、手元現金の流れを見える化する。



■ 地域課題の解決や、地域活性化への寄与ポイントの検討

- 隊員の事業はほとんどの場合、地域内外の様々な人の協力を得ながら進めることが必要となる。
- 協力を得るためには、自身の事業が「地域にどのように貢献するのか」といった点を意識する必要がある。
- 地域と対話を重ねながら、事業のコンセプトを共有していく必要がある。



各地域におけるアドバイスの経過

(1) 秋田県能代市

現地視察(観光資源)の様子

【事業概要(提案時点)】

【地域課題の解決をしたい】

能代市山本地区の課題は人口が流失し空き店舗や空き家が増え、観光客が誘致できていない。一方で白神山地をはじめとする観光資源を有する。

【地域限定旅行業の開業を目指す】

そこで、能代市、八峰町、三種町、藤里町(能代・山本地区)の観光資源の活用を促進することを目的とした旅行会社を開業したい。能代・山本地区の白神山地を利用した旅行商品、地域のイベント、体験プログラムを旅行者へ旅行商品として提供したい。

バスケットと活用したまちづくり



能代七夕: 天空の不夜城 保管会場



郷土料理: だまご鍋



木都であり、風力発電のメッカ



事前審査会で整理した課題

- ターゲットが絞り切れていない印象があり、具体的なターゲットが必要
- 地域限定ということで、ツアーが催行できる地域が必要。インバウンド誘客も含めた情報発信が重要

第1回指導

- 観光資源に圧倒的な魅力はないため、ストーリーの構築や、先を見据えたブランディング戦略が必要
- 観光地があるというだけで人は呼べない。地域住民と議論しながら、地域観光地づくりを進める必要

第2回指導

- 知名度が高くないが、個々の資源を目的に来訪する可能性はある。潜在的顧客へアプローチが必要
- 旅行代理店にカフェを併設予定。カフェを拠点に、域内外の関係者とのつながりを作るとよい

第3回指導

- カフェを旅行企画・代理店業務に活用し、将来はユニバーサル(福祉)観光につなげる
- 事業別に収支を検討し、開業後のカフェの様子やwebサイトの内容を資料に盛り込む

【アドバイスのポイント】

- 能代市の現地視察を通じて、個々の観光資源の魅力は評価できるが、情報発信や地域内での関係づくりに課題がある。
- カフェを併設した旅行代理店なので、カフェが地域内や地域外との関係づくりをする拠点となり得る。

【アドバイスを受けた協力隊・地域の感想】

- 有識者のアドバイスや現地視察により、新たな視点や地元の多彩な観光資源に気付くことができた。
- すでに起業しているが、ビジネスプラン上の課題や事業別収支の検討の必要性について理解できた。

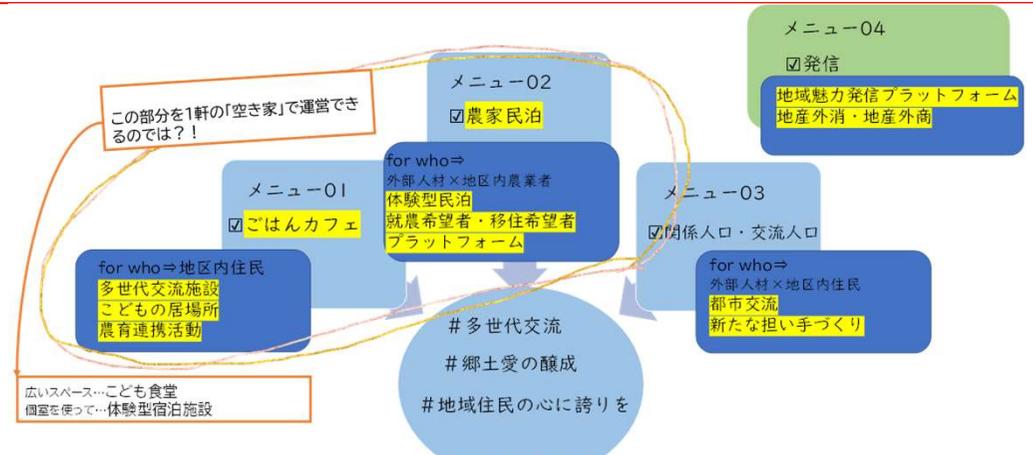
(2)新潟県上越市

【事業概要(提案時点)】

少子高齢化、人口減少が深刻な上越市清里区において、子育て支援や地域の活性化に寄与する拠点をつくることで、子どもたちの放課後の居場所提供や、個食・孤食の対策、地産地消の推進等を図る。

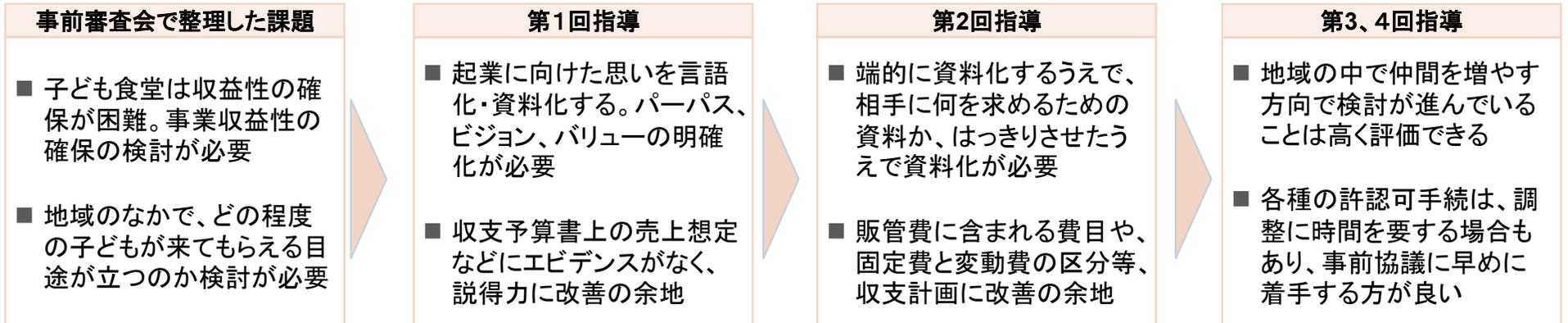
【キーワード】

#寺子屋 #塾 #子ども食堂 #地産地消 #サブスク
#地域資源の活用 #子どもと地域の関わりしろ



その結果…自然と人が集まる地域

出典:「地域おこし協力隊 ビジネスサポート事業」事業実施報告会 発表資料



【アドバイスのポイント】

- ピッチ資料の作成に向けた有識者との対話を通じて、起業に向けた思いを言語化できた。
- 収支計画の具体的な検討を通じて、起業を通じて取り組むビジネスの内容が精査された。

【アドバイスを受けた協力隊・地域の感想】

- 有識者との対話を通じて、毎回新たな気づきを得られた。基本から丁寧に教えて頂き有意義な時間となった。
- 資料の検討・作成を通じて、自分のやりたいことが明確化できた。

(3)岡山県 新庄村

【事業概要(提案時点)】

空き家を活用した宿泊事業の立ち上げを行う。協力隊員は、活動中に宿泊業に関する経営スキルを身につけている。これを活かし、空き家を活用した地域における収入確保の機会を創出する仕組みを実施する。また、本事業を実施する協力隊員に続く人材を連続的に育成し、最終的には地域内の宿と既存商店の集合体を作り上げ、宿場町を再構築することも目標とする。これに加え、村が行うプロジェクトとの連携も図り、複数の手段から所得を得るといった新時代の働き方も提案する。



出典:「地域おこし協力隊 ビジネスサポート事業」事業実施報告会 発表資料

事前審査会で整理した課題

- 「まちのデザイン」の実現に向けては、事業を通じたまち全体の魅力の向上のシナリオを構築が必要
- まちのプロモーションの先行事例を参考にしつつ、マーケティングを実施

第1回指導

- 宿泊客への食事、体験プログラム等の提供内容や、サービス内容を研究する
- 第2回は参考となる地域の視察及び意見交換を開催するので、地域及び意見交換を希望する内容をまとめる

第2回指導

- 起業によって地域で実現したいこと、自身のキャリアビジョン等を熟考する
- 資金融資等、リスクを負った事業計画も検討する

第3回指導

- 思いに基づき今後どのようにビジネスモデル化していくのかを、優先順位をつけながら取り組む
- 村の施策とも密接に関係するため、村と丁寧に協議しながら進める

【アドバイスのポイント】

- 有識者・専門家・先進地のプレイヤーとの対話を通じて、隊員の事業にすぐに活用できるノウハウから、根源的な「思い」やコンセプト熟考の必要性まで、様々な面で学びを得ることができた。

【アドバイスを受けた協力隊・地域の感想】

- 地域との対話や、コンセプトづくりの方法や重要性を学ぶことができ、自身として地域で何がしたいのかといった「思い」を再度見つめ直すきっかけになった。
- アドバイスを実施した有識者や先進地のプレイヤー、事務局とのつながりを作ることができた。

(4)岡山県 西粟倉村

【事業概要(提案時点)】

「森を診て、森を元気にする」をコンセプトに、汎用型ドローンを用い、森林資源の計測・解析サービスを行う事業。
 1haから広範囲までの森林を対象として、スピーディーな計測・解析を得意としている。
 これまでに、西粟倉村で森林管理を行う株式会社の委託を受け、年間約100haの施業前及び施業後の森林資源解析を行い、解析データを行政や各事業所に提供した実績を有している。

自社のPRコンテンツを作成

森を守りたい

～森林資源の見える化、想いと経済を守るトータルサポート～
 一日の美しい森林を守りたい。そのような「想い」を大切にしている方へ。
 私たちと一緒に、山を元気にしていきます。
 ForestEyeでは、森林計測・解析だけでなく、さまざまなサポートまで承っております。



POINT 1

ドローン活用術～オルソ画像作成まで、トータルサポート！

ForestEyeのサービスの大きな特徴は、**ドローンによる撮影方法や、解析に活用できるオルソ画像*の作成方法の初期指導までサポートを行っている点**です。

*オルソ画像とは：空中写真の歪みを補正した画像。対象物の形状や位置が正しく把握できるため、より正確な計測・解析に活用される。




ドローンを活用した空中写真の撮影の様子 オルソ画像を活用した森林解析

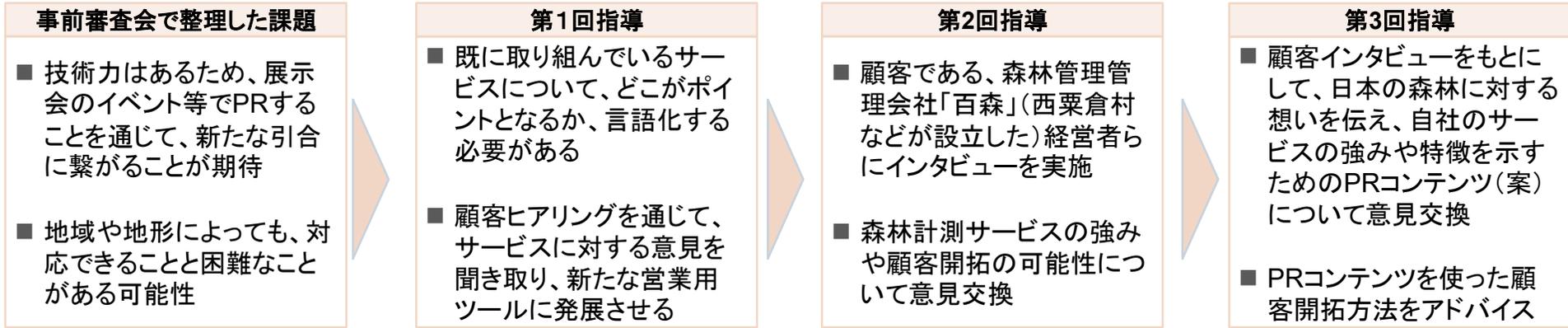
「ForestEyeって何ができる会社なの？ 森を診て、森を元気にする。って具体的にどういうこと？」



ForestEyeのサービスを提供している。『森を守るパートナー』として活躍している株式会社協力隊の社員です。興味ある方、ForestEye代表・協力隊の社員と直接お話しください。協力隊の社員は、ForestEyeの想いや具体的な活用方法を説明いたします。

協理 佐藤 誠一
 代表取締役 佐藤 誠一
 代表取締役 佐藤 誠一

出典：「地域おこし協力隊 ビジネスサポート事業」 事業実施報告会 発表資料



【アドバイスのポイント】

- 自らの強みやビジネスモデルの特徴が、言語化できていない。そこで、既存顧客へのインタビューを通じて、顧客目線での強みや特徴、そして、自らの起業に対する想いを明らかにする。

【アドバイスを受けた協力隊・地域の感想】

- 有識者や顧客との対話によって、自らのビジネスの強みが再認識できた。ビジネスモデルについても新たな可能性が見えてきた。
- 自らの日本の森林に対する想いを大切にしたいと感じた。そして、事業を続けていくモチベーションが高まった。

(5) 熊本県 御所浦地域

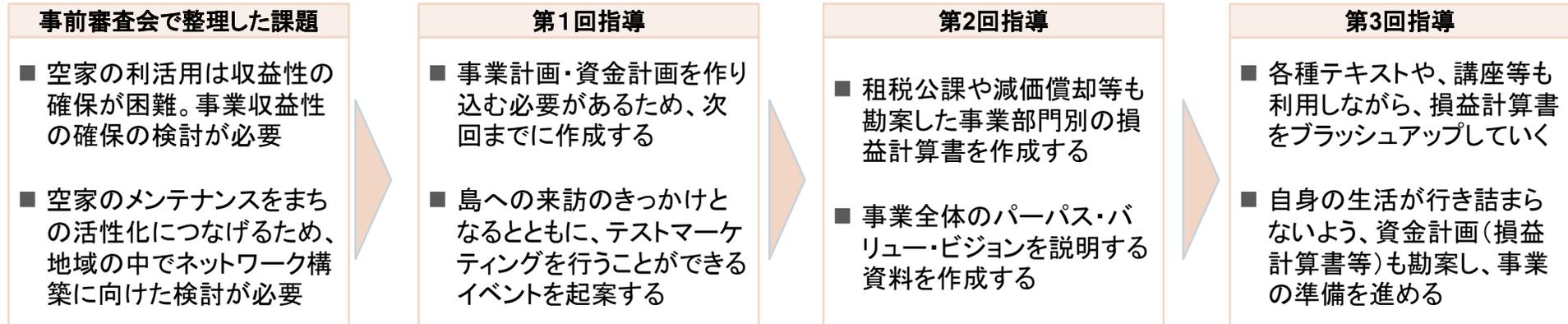
【事業概要(提案時点)】

御所浦町に約3,000軒ある空き家の利活用促進及び、安全・安心な生活環境の保全を目的に以下の事業を展開。

1. 空き家調査: ホームインスペクション、建築基準法12条点検(定期報告)
2. 空き家保全: 定期的な軽微点検及び清掃等のサブスク「やもり」の展開
3. 建築設計: リフォーム、リノベーションの設計監理業務、建替えや移築における建築工事の設計監理業務
4. 空き家解体: 主に木造住宅の解体工事のコンサルティング
5. 不動産: 賃貸契約の仲介、売買契約の仲介、賃貸物件の管理
6. 民泊運営: ワンストップ窓口+ノーサービス+一棟貸しの宿泊施設運営



出典:「地域おこし協力隊 ビジネスサポート事業」 事業実施報告会 発表資料



【アドバイスのポイント】

- 事業計画の作成方法のアドバイスを通じて、検討が具体化
- パーパス・バリュー・ビジョンを振り返ることで、多方面に展開している事業全体のビジョンを描くことができた

【アドバイスを受けた協力隊・地域の感想】

- 事業計画の作成によって、自身に不足しているものや、精査できていない事項が明らかになった
- 初期資金の獲得方法についての示唆等を得ることができた